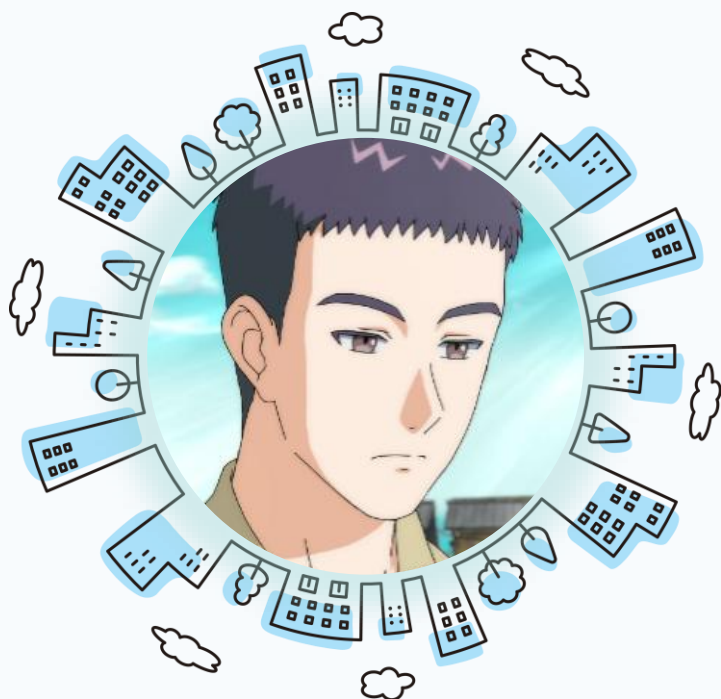




再犯防止をテーマにした動画を公開

「居場所」がある人と、ない人。
その違いが、その後の人生を分けることがあります。

再犯防止は私たちの暮らしの話



人とのつながりや居場所が立ち直りを支えています



◀ 約2分のアニメ
「カレンダーの続きを」公開中



令和8年
7月17日(金)
@大阪拘置所

令和8年度専門研修課程専攻科第5回 再犯防止×地方創生政策ワークショップ型研修

再犯防止を地域づくりや地方創生の視点から考えるため、矯正・自治体・企業・大学等が集まりました。

STEP1

午前



見て

大阪拘置所見学
(希望者)

普段入ることのできない
場所へ
実際の現場に触れる

STEP2

午後



聞いて

7人のインスピレ
ーショントーク

多様な視点から社会を
考える
アート／福祉／農業／教
育など

STEP3



考える

対話＆ワークショップ

感じたことを共有する
アイデアを出し合う

矯正・自治体・企業・大学など 約70名参加

今年度は、矯正職員・自治体職員のみならず、大学生等にもご参加いただき、約70名の規模となりました。当日は、マスコミ3社からの取材もありました。



見学を通じた矯正施設への理解深化

午前は、希望者が大阪拘置所を見学しました。



見て



見学参加者の声

「向かいの居室が見えない工夫など、建物の設計にも多くの配慮があることを知りました。」

矯正〇×クイズでアイスブレイク

午後は、アイスブレイクを兼ねたオリエンテーションからスタートしました。
矯正〇×クイズでは、全員が起立して〇×を掲げ、大いに盛り上がりました。

①近畿2府4県には矯正施設が30か所以上！？

②受刑者の食事は1食500円！？

③加古川刑務所の広さは甲子園3個分！？

④受刑者の衣類は刑務所で作っている！？



※クイズの正解は紙面のどこかに隠されています！

福祉・農業・アート・企業・SDGsなど、多様な分野から7名が登壇

様々な分野で矯正と連携している7名から、「矯正施設x〇〇」をテーマとした短い講演を通じてインスピレーションを与えていただきました。

聞いて



風間 勇助さん
奈良県立大学

アート



田辺 準さん
(株)小学館集英社
プロダクション

アート



名波 哲さん
大阪公立大学

SDGs



高田 勇氣さん
大阪刑務所

伝統工芸



鷲尾 吉正さん
かこっとん(株)

地場産業



柿原 安美さん
(社福)青葉仁会

福祉



大塚 孝頼さん
(株)モンパル

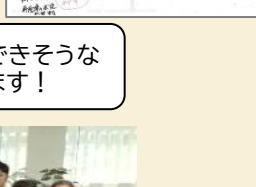
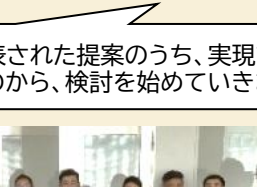
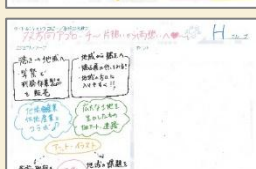
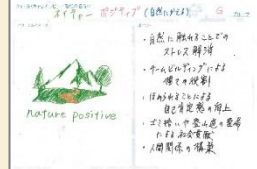
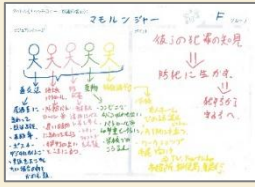
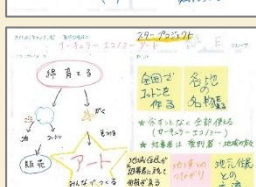
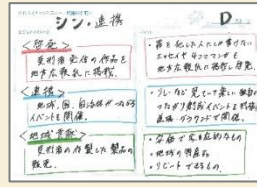
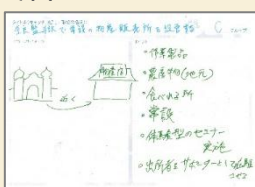
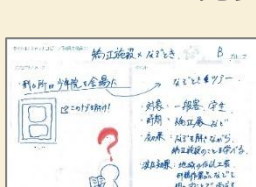
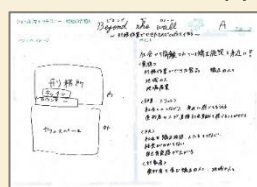
企業

見学・講演・対話を通じた新たな連携の可能性

見学や講演で得た学びを基に、参加者は地域課題の解決や再犯防止につながる具体的な取組について意見を交わしました。各グループでは、インスピレーショントーカーをはじめとするゲスト、矯正職員、自治体職員、学生が、属性の垣根を越え、それぞれが新たな視点を得る活発な議論が行われました。

考える

▼▼ 各グループからの発表資料 ▼▼



発表された提案のうち、実現できそうなものから、検討を始めていきます！



ワークショップ参加者の声
「普段関わりのない立場の人と意見交換
できたことで、新しい視点に気付くこと
ができました。」



大阪府地域連携セミナー 「再出発を支える現場のリアル」

令和8年
7月20日(月・祝)
@大阪府立
中央図書館

例年7月の「再犯防止啓発月間」に実施している大阪府立中央図書館での展示に合わせて、講演を行いました。

講師には岡西 正克氏（一般財団法人かがやきホーム相談員）を迎え、「再出発を支える現場のリアル」をテーマに講演いただきました。参加者は、ふんだんに散りばめられたエピソードを通じて、地域における再犯防止の重要性について理解を深めました。

「再犯防止は、加害者支援ではなく 新たな被害者を生まないための活動なんです。」

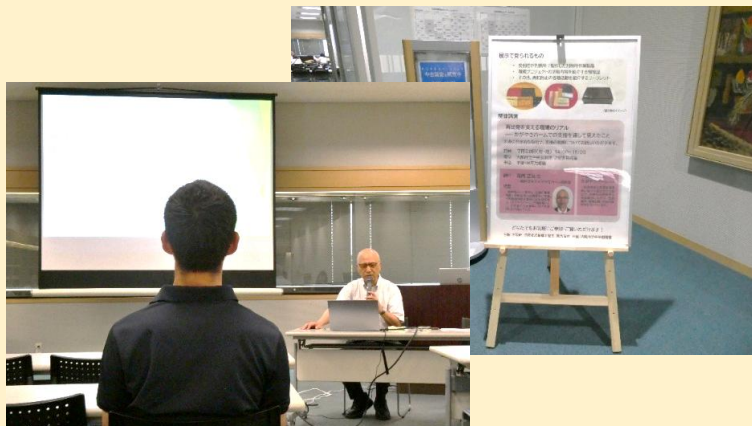
岡西さんからは、「再犯防止は、加害者支援ではなく新たな被害者を生まないための活動で、そのためには福祉的支援の視点が必要」と説明がありました。

支援対象者には共通の特徴があり、金銭管理や規則正しい生活が苦手だったり、ギャンブルやアルコール・薬物の依存症があったり、行動の先読みが難しいなど想像力が弱かったり、物事を被害的に考えて逃避しがちだったり、自分に自信がなく人間関係の維持が苦手だったりします。彼らに必要なのは、寛容さと丁寧さを持った福祉的かつ継続的な関わりです。

かつて刑務官だった岡西さんは、出所時に「がんばれ」と声をかけるだけでは無責任だったかもしれないとお話しされていました。

参加者からは、「これまで知らなかった視点だった」「本当に支援にかかわっている方にしか語れない視点や理解の深さがあると感じました」などの感想が寄せられました。

今回のセミナーでは、地域で支える再犯防止について考えるとともに、支援の現場に対する理解を深める機会となりました。



関連企画



7月16日(木)～同月30日(木)
企画展示
◀ 「もう一度、やり直せる社会へ」
@大阪府立中央図書館

7月30日(木)
刑務所作業製品の展示・即売会 ▶
@東大阪市役所ロビー



◀ 「更生支援企画課だより」バックナンバー



【矯正○×クイズの答え】

① ○ ② ×(1日3食で約500円)
② ×(甲子園5分) ④ ○